

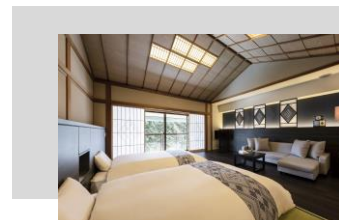
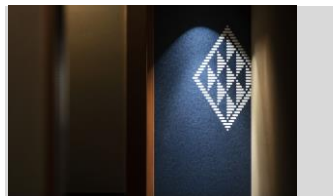
ご当地部屋「津軽こぎんの間」

ご当地部屋とは 全国に展開している星野リゾートの温泉旅館ブランド「界」では、地域の文化を存分に感じられる「ご当地部屋」をご用意しております。



江戸時代に衣類の強度と保湿性を高める工夫として生まれ、次第に美しい装飾として陸奥の人々の着物を飾るようになった、青森の伝統工芸「津軽こぎん刺し」。

その模様を現代風にデザインしたご当地部屋「津軽こぎんの間」でくつろぎのひとときをお過ごしください。



界 津軽では、青森県出身のkoginデザイナー・山端家昌氏とともに、こぎん刺しの模様を現代風にデザインした客室をご用意しています。

津軽こぎん刺しのシンメトリなデザインは、洗練された印象を与え、落ち着きを感じる和の空間を演出しています。

津軽こぎん刺しの基礎模様「モドコ」を、壁に飾られたアートワーク「こぎんウォール」や障子、行燈などに様々取り入れました。



1983年生まれ、青森県出身。弘前での学生時代に津軽こぎん刺しの着物と出会い衝撃を受ける。デザインとしての無限大の可能性に気づき、グラフィックデザイナー視点で模様の研究・応用に取り組んでいる。